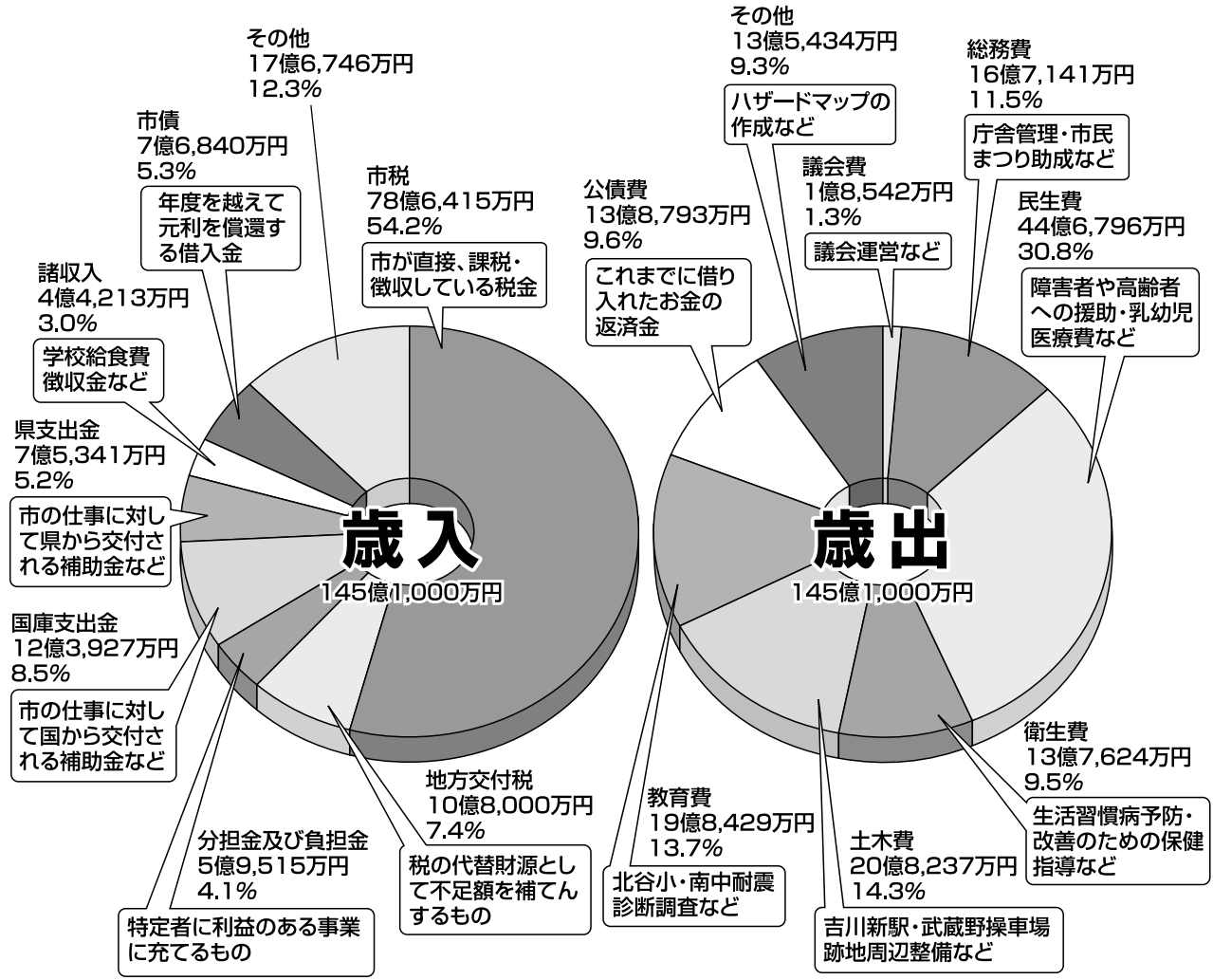


平成20年度一般会計予算のあらまし



「一般会計 予算討論」

第30号議案「平成20年度吉川市一般会計予算」の採決前に行われた反対討論・賛成討論を本人が要約したものです。

反対討論

日本共産党吉川市議員団
遠藤 義法

日本共産党市議団が取り組んだ市民アンケートの回答から平成20年度予算編成にあたっての要望書を提出させていただきました。

その中で、さわやか市民バスの復活や国保税を引き下げること、70歳以上の公共施設利用の減免制度を60歳に戻すことなどを重点項目として実施を求めましたが予算化されていません。平成18年度から3カ年の「行革」で福祉など歳出削減を軒並み実施しました。この時、平成20年度以降借金返済、償還額は減るからと述べていました。借金返済額が平成20年度は19年度に比べて約4億円減るので、削減された市民要望の強い施策の復活や拡充はあたりまえですが全く

されていません。

確かに予算には、障害者支援施設第二さつき園建設のための土地購入費、防犯パトロール活動拠点設置工事費、北谷小学校の耐震診断と補強工事・大規模改修工事設計委託費、南中学校の耐震診断調査委託費などが事業費として計上されており、評価するものです。市民は負担増やサービスカットで生活が困窮しているときだからこそ市は、開発中心ではなく住民の生活を守る施策を実施すべきです。歳入については、地方特例交付金は、児童手当が拡充されたのに伴い平成18・19年度で市が国のお金を肩代わりしたものを返すというのですが、半分も戻ってきていません。地方交付税も毎年減額です。地方分権といいながらこうした国のやり方が市の財政を圧迫しており、政府への改善の取り組みをもっと進めるべきです。

賛成討論

自由民主党吉川市議員団
加崎 勇

第30号議案 平成20年度吉川市一般会計当初予算について賛成の立場で討論させていただきます。